

(1) 次の会話を読み、後の問いに答えましょう。

川崎さん	この前道德の時間に学習した「命てんでんこ」のことについて、「いのちの授業作文」に書きたいと思いますが、お話のあらずじは書いたほうがよいですか。
先生	そうですね。作文を読む人がみんな「命てんでんこ」の話を知っているとは限らないので、あらずじを書くのは親切かもしれませんね。ただし、一番大切なのは、この学習を通して君がどんなことを感じたり考えたりしたのか、ということだから、文章の大半があらずじになってしまわないように気をつけましょうね。
川崎さん	はい。あと、 <small>みやこ</small> 宮古市立 <small>たろう</small> 田老第一中学校の校歌の歌詞がとても印象に残ったので、そのことについても書きたいと思います。

## 問一

文章中 線の「あらずじ」を書くときに気をつけることは何でしょうか。次のア〜ウの中から最も当てはまるものを一つ選び、記号を□に書きましよう。

- ア 作文の全体に、「命てんでんこ」の話のくわしい内容を書く。  
 イ 作文の最初のほうに、「命てんでんこ」の大体の内容を書く。  
 ウ 作文の最後のほうに、「命てんでんこ」の大体の内容を書く。

## 問二

川崎さんは作文の中で、田老第一中学校の校歌の歌詞を引用しようと思っっています。引用するときに気をつけることは何でしょうか。次のア〜ウの中から当てはまるものを二つ選び、記号を□に書きましよう。(答えは順番通りに書かなくてもよいです。)

- ア 文や語句の中に学習していない漢字があってもそのまま抜き出す。  
 イ 文や語句の中に学習していない漢字があったらひらがなで書く。  
 ウ かぎかっこ(「」)でくくるなど、自分が書いた文と区別する。  
 エ 歌の歌詞を引用するときは、引用元を書かなくてもよい。



(2) この後、川崎さんたちは次のように学習計画を立てました。

- 1 引用する文を決め、引用した理由や自分の考えをまとめる。
- 2 文章全体の構成を決め、文章を書く。
- 3 お互いに書いた文章を読み合い、推敲する。
- 4 清書する。完成した「いのちの授業作文」はお家の人に読んでもらう。



問三

「4」の推敲の際に気をつけることとして正しいものには○を、間違っているものには×を、の中に書き入れましょう。

① 書く目的が伝わるような段落構成になっているか考える。

② 誤字脱字がないか確認する。

③ 正しく引用できているか、書いた人にインタビュアーしながら確認する。

④ 読み手を引き付ける書き出しになっているか考える。

⑤ 引用した部分と自分の考えとの関係がはっきりしているか確認する。

(3) 川崎さんは、作文を書くために、いのちの授業ハンドブック「命てんでんこ」の文章を読み返しました。

(前略)

① もう一つは、負けたくないと思ったことです。田老は今まで何度も津波の被害にあい、それを乗り越えてきた町です。校歌の3番には田老一中生の進むべき道が示してあります。

防波堤を仰ぎみよ / 試練の津波幾たびぞ  
乗り越えたてしわが郷土 / 父祖の偉業や跡つがん

② 僕はその日のことをたくさんの人に伝えたい。命を大切にしようと思いたい。そして、③ 決してあきらめず僕らの未来を作りたい。

(『かながわ「いのちの授業」ハンドブック』神奈川県教育委員会。出題にあたり一部書き改めたところがある。)

問四

川崎さんは、「命てんでんこ」の文章中の 線部①～③を次の引用しましたが、それぞれまちがっているところが一ヶ所あります。まちがっているところを~~~~~を引きましょう。

① もう一つは、負けたくないと思ったことです。

② 僕はその日のことをたくさんの人に伝えたいです。

③ 決してあきらめずに僕らの未来を作りたい。

